

ずぞうしょう
「**図像鈔**」

松伏町指定有形文化財（古文書・典籍・書跡）
昭和58年11月16日指定

図像鈔とは、諸仏の役割とその姿を解説したもので、全十巻の構成になっています。原典は大治4年（1129）頃に成立したとされます。静栖寺（田中）の図像鈔は、仁和寺に伝わる写本を底本とし、江戸時代後期に成立したものです。保存状態は良好で、諸仏が美しい色彩で描かれています。

